

埋立部	棧橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名: 舗装工他	



羽田再拡張 D滑走路建設工事共同企業体 提供

D滑走路の工事が完了しました。(電気関係工事は10月21日の供用に向け引き続き実施)今回の現場日記では、D滑走路の棧橋部完成までの経過と本工事の技術的工夫について紹介します。

棧橋部の完成状況



床版上に舗装を舗装した後、標識を施工(2009.12月～)



①②...約52万m<sup>2</sup>の面積(東京ドーム11個分相当)もある棧橋部において標識が施工された舗装状況です。③...写真は棧橋部伸縮装置です。伸縮装置は大きく3つの働きをします。

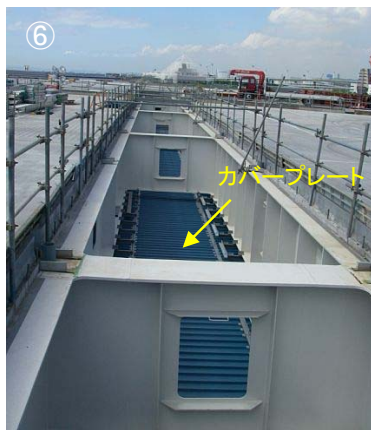
- I. 棧橋部の温度変化の伸縮に対応。
- II. 地震動による動的な変位などによる棧橋部・埋立部間の相対変位に対して追従。
- III. 埋立部の土圧により生じる水平変位に対応。

滑走路方向・滑走路直角方向±60cmの伸び縮みに対応します。

棧橋部の施工過程



床版を据え付け後の状況



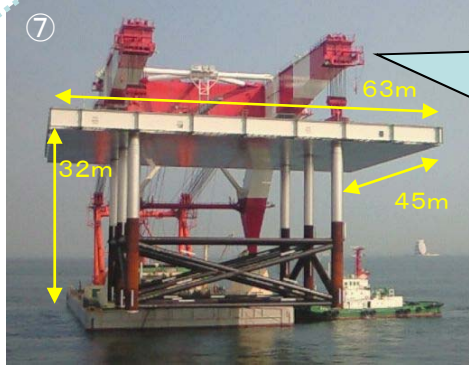
④⑤...棧橋部で約1万5千枚の床版を設置しました。

⑥...床版設置前のジャケット内部空間です。カバープレート(床が青くなっている所)で空間を密閉します。さらに、この空間の湿度をコントロールする装置を設けジャケットが腐食しにくい環境が作られています。

⑦...一基あたり約1300トンもあるジャケットの据え付けにおいて、水平方向±10cm以下の据え付け位置の施工誤差しか許されません。まさに職人技です。



ジャケット上に床版を据え付け開始(2008.3月～)



ジャケットを据え付け開始(2008.1月～)

作業船高さを低く改造した低頭式起重機船にて、基礎杭にジャケットを差し込むように据え付けます。